

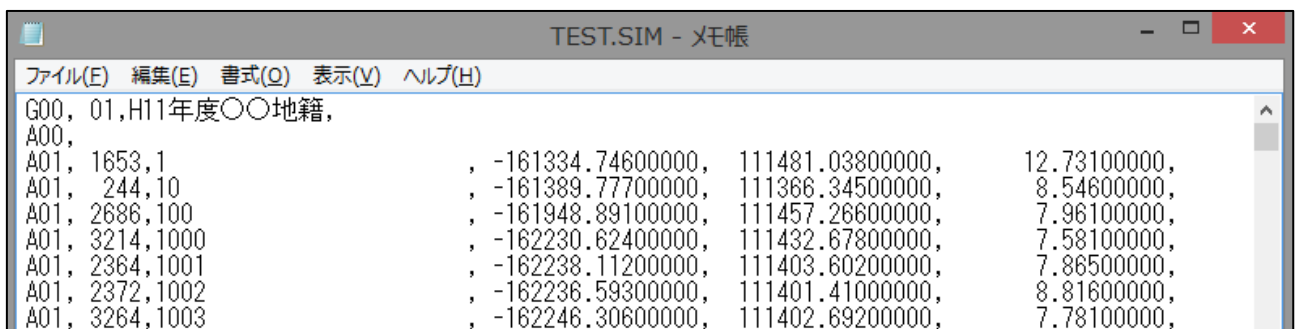
開く SIMA 共通フォーマット

目次

1. SIMA 共通フォーマット.....	1
2. パネル.....	2
3. 縦断成果・横断成果の表示について.....	3
4. 「地物リスト」パネル.....	4
5. 更新記録.....	4

1. SIMA 共通フォーマット

カンマ区切りのテキストフォーマットのファイルです。



「A01」は「座標データ」です。

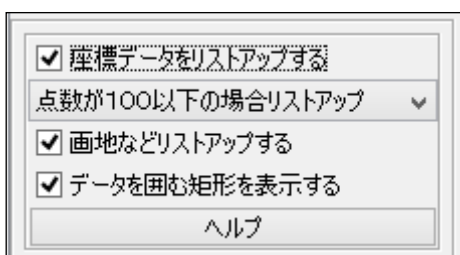


「D00」は「画地」の開始、「D99」は「画地」の終了です。「B01」が「画地」の成点です。

2. パネル

SIMA 共通フォーマットファイル(拡張子は.sim)を開く際の設定です。

SIMA 共通フォーマットファイル内の一部の形式のデータに対応しています。



座標データをリストアップする

座標データの数が、指定された数より少ない場合、「地物リスト」あるいは「画地など」「画地など」パネルにリストアップします。

画地などリストアップする

画地、縦断成果、横断成果について、ウィンドウ右側の「地物リスト」あるいは「画地など」パネルに名称などをリストアップします。リストの項目を選択することで、該当するデータを3Dパネル中央に表示します。

データを囲む矩形を表示する

ファイル中の座標、縦断成果、横断成果データを囲む矩形を表示します。データの範囲がわかります。離れた座標点などがある場合、矩形が大きくなります。

ウィンドウ下の「レポート」パネルに SIMA 共通フォーマットファイルのバージョンや現場名称、データ数など表示します。ファイルのリードが終わると、地図を[3D表示]パネルに表示します。ウィンドウ右側[データ]パネルにファイル名のノードを追加します。ここで表示非表示などが指定できます。

3Dパネルには以下の座標で表示します。

データ	3Dパネルでの表示
座標データ、 画地データ	SIMA 共通フォーマットファイル中の XYZ 座標に従って、そのまま 3D 表示します。 Z 座標がない場合、標高値-999.0mの位置に表示します。
縦断成果	追加距離を X 座標、地盤高を Z 座標とします。Y 座標は 0.0 です。
横断成果	追加距離を X 座標、地盤高を Z 座標、距離を Y 座標とします。
路線	直線と円弧のみの表示をサポート

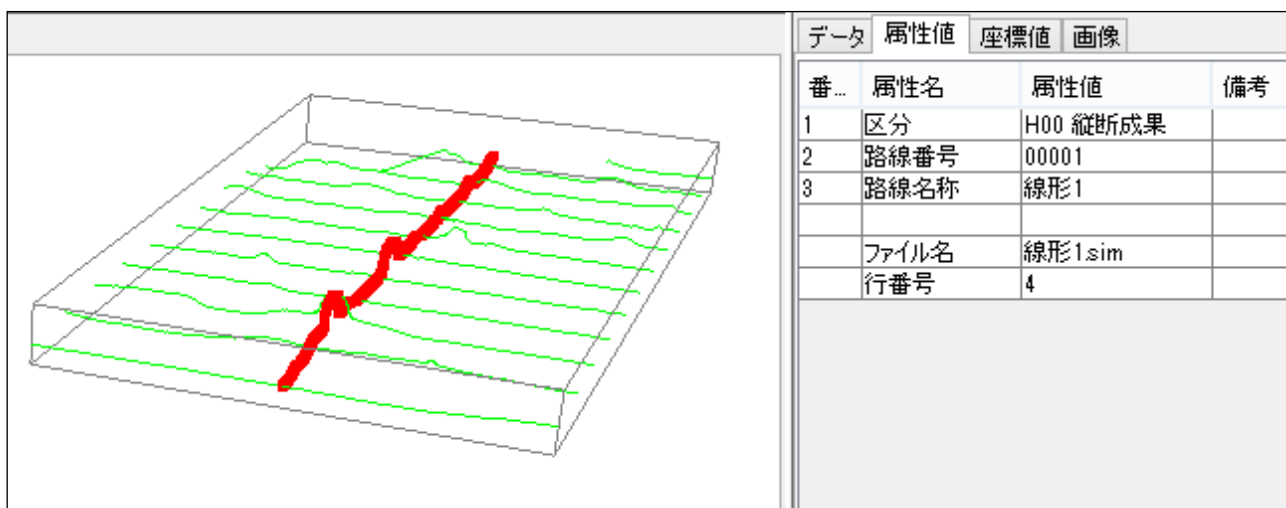
3. 縦断成果・横断成果の表示について

縦断成果、横断成果のみが記録されている場合、原点付近に表示します。

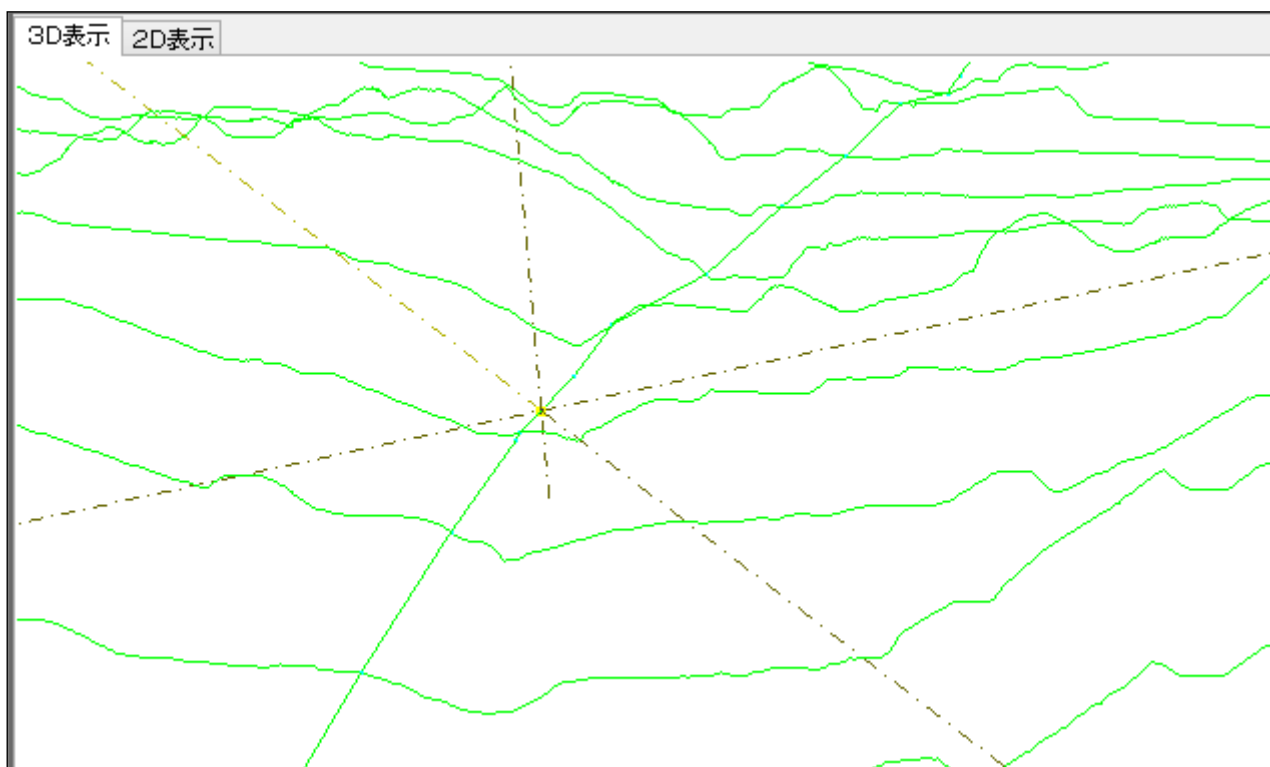
X 軸 横断方向

Y 軸 追加距離

Z 軸 標高値



ひとつの.sim ファイルの中に縦断・横断データと、位置を示す座標データがある場合、その位置に表示します。



	10	20	30	40	50	60	70	80
A01,1,1					36.175,	56.480,		1.983,
A01,2,1_L					39.936,	57.817,		2.017,
A01,3,1_R					32.414,	55.143,		2.017,
A01,4,2					36.342,	52.260,		0.347,
A01,5,2_L					30.103,	53.597,		0.344,
A01,6,2_R					32.581,	50.923,		0.344,
A01,7,2					32.675,	54.788,		0.344,

座標データの点名称が「1」「2」「3」...となっていて、それが縦断の各点の数と一致している場合、縦断面の XY 座標と判定します。

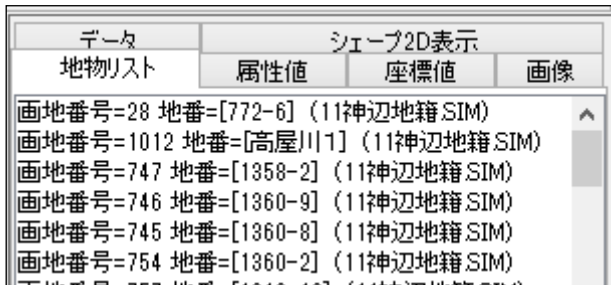
さらに点名称「1_L」「1_R」...が、横断面の数と一致している場合、横断面の XY 座標と判定します。

これらの座標を参照して 3D 表示します。

4. 「地物リスト」パネル

ダイアログで「座標データをリストアップ」「画地などリストアップ」のリストアップについて。

SIMA 共通フォーマットファイル内の画地(地番あり)をリストアップします。リストの項目をクリックすると、その地番の始点が参照点となります。



5. 更新記録

2016/04/19

- ✓この説明書を作成

2016/09/08

- ✓「地物リスト」パネルの説明を追加

2017/08/07

- ✓横断・縦断について、同じ.sim ファイル内に座標データがあり、XY 座標が特定できれば、その位置に表示
- ✓「路線データ」について、直線と円弧のみの場合の表示を追加

2019/02/22

- ✓ドラッグ・アンド・ドロップ

Windows のエクスプローラから、.sim ファイルをドラッグして、「3D 表示」「2D 表示」パネル上にドロップすると、該当する.sim を選択した状態で「開く開く SIMA 共通フォーマット」ダイアログを表示します。

2020/03/31

- ✓ダイアログで選択した.sim が、次回起動時のデフォルトの選択になります。
- ✓「開く バッチ処理(複数メニュー指定)」に対応

<http://www.geocoach.co.jp/help/BatchProcess0Dialog.pdf>

2020/04/27

- ✓説明を追加

2023/11/14

- ✓説明の誤字を修正